



**\*手術室入室時に守っていただきたいこと\***

手術室へいくときには身体から外れるものはすべて外していただきます。  
メガネや入れ歯、お化粧などをしていると手術の操作の支障と状態観察の邪魔となります。  
患者さんの安全の為にお願いします。

以下のものは外してください。

- ・メガネ、コンタクトレンズ
  - ・入れ歯(外れるもの)
  - ・かつら、ヘアピース
  - ・湿布、ピップエレキバン
  - ・ピアス、イヤリング、指輪、ネックレス
  - ・お化粧、マニキュア、ペディキュア
- などなど

その他の装着物についての質問は看護師へ直接お尋ねください。

	手術前日	手術当日	手術前
手術前・手術後の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手術室に持参する物品の確認をします。</li> <li>・麻酔科の医師の診察があります。</li> <li>・除毛とお臍の掃除をします。</li> <li>・20時に浣腸をします。</li> <li>・眠れそうもないときには日中に教えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6時に浣腸を行います。</li> <li>・麻酔科の指示でお薬を飲むことがあります。</li> <li>・入室時間の15分前になりましたら、お手洗いにいき、弾性ストッキングをはき、着がえをします。</li> <li>・担当の看護師と車椅子で手術室へ行きます。</li> </ul>	
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボンコロ食というお腹に残りにくい食事になります。お膳についてくる食事以外は食べないでください。</li> <li>・お水、お茶などは飲んでもかまいませんが、果肉などのはいった飲み物や牛乳などは飲まないで下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝から食事を食べることは出来ません。</li> <li>・決められた時間までお水やお茶を飲むことが出来ます。</li> </ul>	
身体の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除毛の後、入浴やシャワーをしましょう。</li> <li>・爪切りをしましょう。</li> <li>・マニキュアやペディキュアを落としましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お化粧やマニキュアをしないでください。</li> <li>・身体から外せるものは外しておきます。(入れ歯、めがね、ピアス、指輪など、上記参照)</li> <li>・髪の毛の長い方は結びましょう。</li> </ul>	
い身体に付属して		<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>弾性ストッキング(歩くようになるまで)</li> <li><input type="checkbox"/>リストバンド</li> <li><input type="checkbox"/>点滴(手術開始時間によって)</li> </ul>	

**\* 早期離床について \***

以前は手術をしたら安静と言われていましたが、現在では手術後に早期に身体を動かすことが回復を早めると言われています。





安静にしている時間が長いと・・・

- ・手術前の生活に戻るまで時間がかかる
  - ・血栓(深部静脈血栓症)が起こる
  - ・お腹の動きが悪くなり、腸閉塞の危険性が高くなる
- などなど

そのため手術後翌日から身体を動かし、1日にベッドに寝ている時間を短くしていく必要があります。

ベットの上で身体を動かすことから始め、病室内や廊下の散歩をしていきましょう。

創が痛いときには痛み止めを使用して身体を動かしていきましょう。  
痛み止めを使いすぎたからといって、回復に支障がでることはないと言われています。  
手術後日数の経過と共に痛みは徐々に軽減していきます。

	手術当日 手術後	手術後 1日目	手術後2日目から7日目
手術前・手術後の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素マスクをします。</li> <li>・足に血栓予防のマッサージ器をつけます。</li> <li>・管が付いていますが、身体の向きを変えたり、足を立てたりしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医がお腹の創の処置を行います。</li> <li>・身体を動かしましょう。目標はベッドの端に座ることです。可能であれば立ち上がり歩きましょう。</li> <li>・痛みは我慢しないで下さい。</li> <li>・色々な管が付いていますが、主治医の指示で抜く時期が異なります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お腹の処置は抜糸まで行います。(手術後7日目まで)</li> <li>・ベッドに寝ている時間を少なくし、廊下を散歩しましょう。身体を動かすことで創の治りや腸の動きがよくなります。</li> <li>・転ばないように注意して歩きましょう </li> </ul>
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻酔が覚めた後はうがいをすることが出来ます。</li> <li>・主治医の許可があるまでお水を飲むことはできません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腸の動きや状態に応じて、主治医から水分や食事開始の許可があります。</li> <li>・水分も少量から、食事の量も初めは半分位を目安に摂るようにしましょう。 </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分は1日にペットボトル3本くらい(1500ml)を目安に飲みましょう。</li> <li>・お腹の調子と相談して食事量を徐々に増やしていきましょう。 </li> </ul>
身体の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温かいタオルで顔を拭きましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を温かいタオルで拭きましょう。</li> <li>・着がえをしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を動かせるようになったら洗髪をしましょう。</li> <li>・シャワーは主治医の許可が必要になります。</li> <li>・湯船につかるのは退院後に外来で主治医に聞きましょう。 </li> </ul>
い身体にも付属して	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>点滴</li> <li><input type="checkbox"/>酸素マスク(翌朝まで)</li> <li><input type="checkbox"/>心電図モニター、酸素モニター(翌日まで)</li> <li><input type="checkbox"/>足のマッサージ器(翌日まで)</li> <li><input type="checkbox"/>血栓予防薬</li> <li><input type="checkbox"/>おしっこの管</li> <li><input type="checkbox"/>お腹の管</li> </ul>	<p>身体に付いているものはそれぞれ抜く時期が異なります。</p> <p>身体を動かす際には無理に引っ張ることのないよう十分に注意しましょう。</p>	